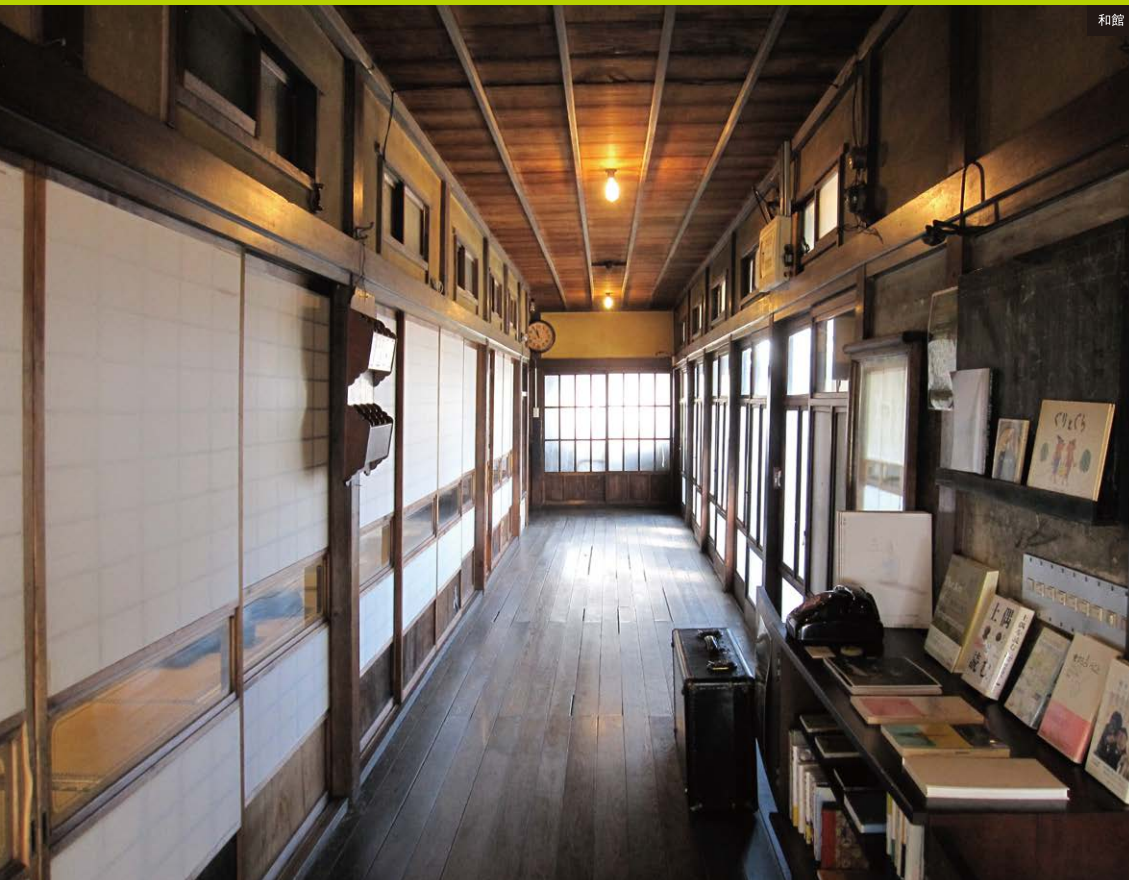


Mokutaidikyō

木耐協

マンスリーレポート

2023.5
vol.
293



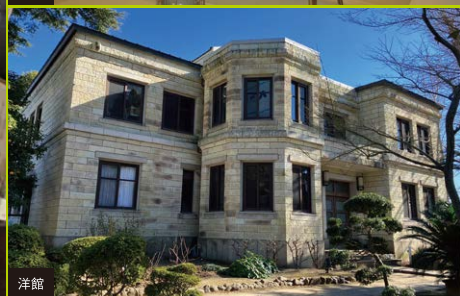
和館



和館



和館



洋館

特集

2023年度「木耐協活動方針」

テーマは **防災リフォーム**・

81-00・加盟の促進

今号の表紙

埼玉県川口市の「大泉工場」内にある大泉家住宅（和館、洋館／国登録有形文化財）は、鋳物・機械工場を営んでいた初代・大泉寛三氏の住居でした。和館・洋館ともに1938年（昭和13年）に建設され、椽瓦葺の木造平屋建ての和館では、大泉氏の9人の子が住んでいました。洋館は、大谷石を使った日本では珍しい石造り2階建て。現在は、現4代目社長によって敷地を市民に開放し、和館は現代版寺子屋「JUKUBOX」の会場、洋館はオフィスなど様々な事業に利活用されています。

写真：事務局スタッフ撮影
株式会社大泉工場 オーケーエス キャンパス事業紹介ページ
<https://www.oks-j.com/okscampus>



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合



事業活動方針3

組合員の加盟社数を増やす 「加盟の促進」を強化

- ▶ 組合加盟説明会や他団体等との
コラボセミナーを積極的に開催
- ▶ 現組合員による紹介キャンペーンも実施予定

木耐協は長らく1,000社の団体として活動していますが、ここ数年はコロナ禍を受けて積極的な加盟促進の動きを控えていました。一方でコロナ禍によって在宅避難という言葉も知られるようになり、防災・耐震への意識が高まっています。そこで、今年は改めて加盟促進を強化します。

そのために、木耐協単独での加盟説明会開催の他、工務店・リフォーム会社向けの業務支援等を行う会社等とのコラボレーションセミナー、現組合員による紹介キャンペーン等を展開し、加盟社数を増やす取り組みを進めていきます。

重点項目1

国土交通省や他の団体との連携を 強化して「住宅リフォーム事業者 団体登録制度」のメリットを強化

- ▶ 国土交通省や他の登録団体と定期的に会議を開催
- ▶ 登録団体制度のメリットを高める動きを強化していきます

国土交通省や他の登録団体、さらに住宅瑕疵担保責任保険協会、住宅リフォーム推進協議会との連絡会議が定期的で開催され、情報交流を行っています。その中で改善要望を挙げることで、団体ごとにバラバラだった報告期限が今年統一されるなど改善されてきました。これからも団体制度のメリットをより感じていただけるよう、制度の認知度向上と活用促進を行っていきます。

重点項目2

差別化にもつながる 「住宅リフォームかし保険」の活用強化

- ▶ リフォームかし保険の正しい理解と
営業力アップにつながる活用例を伝授
- ▶ 武器として使えるような情報提供を行っていきます

国土交通省の住宅リフォーム事業者団体登録制度の登録団体の構成員として、「500万円以上の住宅リフォーム工事」を請け負う場合、「住宅リフォームかし保険の付保」もしくは「同保険未加入了承書の取得」が必要です。構成員に徹底していただけるよう、住宅瑕疵担保責任保険協会や活用組合員に協力をいただき「活用事例セミナー」を開催し、リフォームかし保険を営業ツールとして活用する方法をお伝えしていきます。

重点項目3

「消費者への情報発信」を 今年も推し進めていきます

- ▶ 消費者と直接接点をもつセミナー開催や
「ぼうさいこくたい」への出展
- ▶ 組合の認知度を向上させ
加盟しているメリットの高まりを目指します

昨年度に引き続き、「消費者向けオンラインセミナー」の年4回開催と「ぼうさいこくたい」への出展を通じて、防災・耐震の啓発と組合認知度向上を図ります。なお、セミナーでは地震・防災等と、お金・収納などのテーマで消費者が興味を持つものにし、開催前後でプレスリリースを実施し、ホームページへのアクセス増加も狙います。これまで通り調査データやプレスリリースも継続します。

より皆様の事業に役立つ 組合であるために 2023年も活動します

木耐協は耐震社会の実現を目指して平成10年に設立しました。地震だけでなく様々な自然災害のリスクも高まったことを受け、住宅の防災力を高める取り組みも強化。一方で顧客も多様化し、工務店リフォーム会社も多様な特徴やウリが必要となります。そのため、木耐協でも耐震・防災以外の金融提案や法令改正などのメニューをご用意しています。また、団体の規模を活かした各種優遇制度や、耐震・防災以外の研修や情報提供も進めています。組合員の皆様と共により飛躍できる年になるよう精進して参ります。

[特集] 2023年度「木耐協活動方針」 テーマは防災リフォーム・ 81-00・加盟の促進

3月23日(木)の総会にて皆様
に承認していただいた、今期
の木耐協活動方針について特
集いたします。より皆様の事
業に役立つ組合となるために
新たに取り組む事や、より深
掘りしていく内容についてご
紹介します。

事業活動方針1

いざという時、自宅で安心！ 「防災リフォームパッケージ」で 災害発生時の電気と水を備える

- ▶ 自然災害によってライフラインが止まっても
自宅で過ごすために必要な水・電気を備えるリフォーム
- ▶ 普段の生活でも光熱費の軽減になり、時流にもあった提案

2018年に発生した北海道胆振東部地震では、大地震による大停電（ブラックアウト）が発生し、災害後に電気が途絶えるリスクが認識されました。また、ゲリラ豪雨や線状降水帯による豪雨によっても電気・水道といったライフラインの復旧には時間がかかる災害が全国で多発しています。

いざという時に在宅避難が行えるためには、住宅の耐震性だけでなく、電気と水も自宅で備える必要があります。株式会社TOKAI様と清水英雄事務所株式会社様との連携による「防災リフォームパッケージ」では、そうした電気と水を備えるリフォーム提案が可能となります。また、現在高騰している光熱費の軽減にもつながるため、消費者ニーズは高いものとなっています。



事業活動方針2

新たな耐震リフォームを促す 「81-00キャンペーン」の推進

- ▶ 東京都が耐震化目標を2000年基準に引き上げるなど
耐震改修の対象は旧耐震から「81-00住宅」へ
移り変わりつつある
- ▶ 全国の自治体へのDMやホームページ等での
情報発信を通じてこの流れで耐震事業を加速する

昨年12月に東京都が発表した『TOKYO強靱化プロジェクト』では、様々な自然災害への対策を強化する中、木造住宅の耐震化について「2000年基準を満たす」ことを目標とし、「81-00住宅」への耐震診断・補強への補助の拡充が進められることとなりました。

木耐協では設立以来81-00木造住宅の耐震化にも努めており、2019年には「81-00木造住宅プロジェクト」として全国の自治体へDMによる周知活動を行いました。今年度は改めて自治体向けに81-00木造住宅の耐震化に関する情報提供を行い、耐震市場の活性化および組合事業の認知度向上、さらに加盟促進につながる動きとしていきます。



耐震技術認定者 になろう!

耐震技術認定者は、木耐協組合員様限定の資格です。講習会では、耐震の基礎知識から実際の診断方法まで広い範囲を学ぶことができます。リフォームの提案でも、耐震や構造を

知っていることが大きなアドバンテージになります。ぜひ、この機会に耐震技術認定者になりませんか。

確かな技術と知識の証！
リフォーム提案にも役立つ！



▶▶ 考査合格者には
カードサイズの
認定者証と、賞状を発行



認定者は木耐協ホームページでもご紹介！
都道府県・会社名で検索できます



7月に**対面講習会**を実施
今なら対面・eラーニング版が選べます!

PCがあれば
どこでも受講可能!

講義が生で聴ける!



eラーニング版

第2期 受講期間

5/11(木)～6/15(木)

対面(会場開催)

7/7(金) 東京 会場: エッサム神田ホール1号館

7/14(金) 大阪 会場: 新大阪丸ビル別館

ともに 10:00～17:40

eラーニング版第2期 / 7月東京・大阪 ともに

受付開始は、5月9日(火)13時

木耐協 講習会

検索



これから
どうなる?
住宅コンサルタント清水大悟が解説!

住宅産業界

No.21

住む人に合った
素敵な暮らし
をご提案する

「素敵な暮らし」や「世界に
たったひとつの家づくり」

素敵な暮らしは、家づくりの話ではなく「暮らし」や「生活」の話です。家づくりの性能や省エネ設備のスペック、工法や構造の話とは異なり、ライフスタイル提案を行うことが重要です。住宅を求

どんな暮らしを求めているか、
趣味・趣向・暮らし方の話は当然

素敵な暮らしを提案する
為に必要なヒアリング

める消費者の満足度(CS)に直結する「住む人に合った素敵な暮らし」とは何でしょうか。

提案には商品化・
メニュー化が必要

として、10～15年後の暮らしが変化するのはどうでしょうか?
住宅を資産という面から考え、先々のことも見据えて考える時代です。ヒアリングもただ「したい事」を聞くだけでなく、「これからどうしたいか?」という未来の話も含めて聞き出しましょう。

注文住宅で「素敵な暮らし」を作り上げてきた時代から販売スタイルが大きく変化し、セミオーダーで「素敵な暮らし」を提案する時代に入りました。商品化・メニュー化という変化はビルダーなど棟数の多い事業者から進んでいますが、工務店でも早めに販売スタイルの変化に順応した会社は棟数を増やしています。

今回のポイント

- 未来の暮らしの話が出来ることも重要
- お金・資産の話を押さえておきましょう
- 商品化・メニュー化で変化に順応しましょう

〒114-0011 東京都北区昭和町1-9-18 ☎03-3810-1565

清水英雄事務所WEB > <https://au-shimizu.co.jp/>

雨と太陽で暮らす家。On The Spotコンソーシアム > <https://ots.amehiconso.jp/>

プロフィール



清水 大悟

事業・経営コンサルティング
清水英雄事務所株式会社
マネージングディレクター

Twitter, Instagramなど
SNSで情報発信中



耐震診断の方法をまとめた日本建築防災協会発行「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」とホームページで公開されている「質問・回答集」の中で、抑えておくべきポイントを取り上げてご紹介します。

2023年 5月号 第20回
「木造住宅の耐震診断と補強方法」のポイントを解説!
木耐協 技術部の技術通信

適用範囲 一般診断法<必要耐力> Q3.45「後編」(p.10)

Q 階高3.4mの場合に一般・精密Iではどのように対処すれば良い？(筋かい壁で) 910×3,400と500×2,700では筋かいの(角度)傾きはほぼ同じだが。

A 階高が3mを超える建物では幅910mmの筋かい壁と幅600mmの面材壁でも、通常の(高さの)建物に比べ性能の低下が考えられる。その点を考慮して、診断では適切な安全率を考慮することをお勧めする。

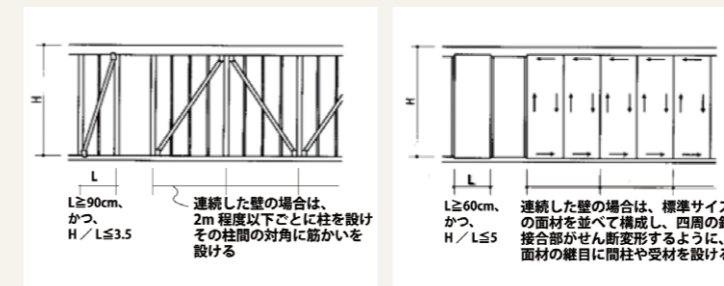
■ 考察

筋かい壁の傾きに着目した質問に対するものですが、まず傾きが同程度であったとしても、「筋かい壁の水平方向の長さは900mm以上」という大前提がありますので、質問の500×2,700はそもそも却下です。

回答部分の最後の部分では、いずれにせよ「高さ÷幅」の比が大きくなると筋かい壁でも面材壁でも、通常の高さの建物に比べてその性能の低下が考えられます。「診断では適切な安全率を」ということですが、これについては下記の2つの方法が考えられます。

- ①2012改訂版の解説編「精密診断法I」P66で、表4.5(a)の直下の註)のところに筋かい壁の場合の内法高さとの比に応じた低減の方法が記されています。
- ②「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」2017年版(住・木センター)のP61「構法の仕様」ではページの最下段⑤のところで令46条及び告示1100号で与えられた耐力壁の適用範囲について最少壁長さとして階高÷幅の上限が定められています。

これによると、【筋かい壁】では最少幅は「90cm」、階高÷幅は「3.5以下」に対し【面材壁】では最少幅が「60cm」、階高÷幅が「5.0以下」と定義付けされています。この②という階高とは、内法高さではないと判断したほうがよいと思います(図参照)。



余談になりますが、地方や大農家等に多い長尺柱(長さ14尺≒4.0m)の場合、通常の3尺(910mm)間隔の柱配置であれば、たとえ筋かいが入っていてもこれを無視する必要があるので要注意です。また、階高についての定義が不明瞭ですが、部材上端間で決める場合等、使用目的により使い分けがあるので要注意です。

今月のテーマ
「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の質問・回答集⑬

今月のポイント

階高が3mを超える建物では耐力壁の性能低下を考慮
幅と傾きの程度によっては耐力壁としては評価できない

実はお客様が知りたがっている!

中古住宅のリノベーションのお金の知識 第2回

「中古住宅+リノベーション」事業を先端的に取り組まれている組合員である株式会社MIMAの美馬社長から、リフォーム会社として知っておきたい住宅やお金の基礎知識を学びます

中古住宅+リノベーションのリスクと注意点とは?

- ▼ 建物の情報が少ない
- ▼ リノベーション後が想像しにくい
- ▼ 購入前に予算が立てづらい
- ▼ 思うようなリノベができるか不明
- ▼ 税制やローン条件などが複雑
- ↓ 確かな情報を提供することが重要

中

古住宅は、第1回に挙げたようにメリットがたくさんありますが、新築分譲住宅より「買うのが難しい」というデメリットがあります。新築分譲住宅などは目の前にある新しい建物のありのままをお客様に見せて、気に入るかどうかで購入の決断ができます。しかし、中古住宅の場合は、「現状見たまま」だときれいでない場合が多いため、お客様のテンションが下がりやすいのです。もちろんリノベーションをすれば新築と変わらない構造・内装になりますが、そのイメージを持たせるのが難しいのが現実です。

「中古住宅+リノベーション」のリスクとは?

「中古住宅+リノベーション」のリスクに、まず、建物の情報が少ないことです。「中古物件」は不動産流通機構の情報(レインズ)に登録されますが、物件によっては図面や建築確認などの資料がないことがあります。また、先に述べた通り、リノベーション後のイメージが付き

にくいことがあります。さらに、リノベーション費用の予算が購入前には立てづらいこと、新築の購入と比べると税制やローン条件などが複雑なことが挙げられます。

難しい買い方だから 確かな情報を提供する

「中古住宅+リノベーション」のリスクの多くは、「建物」に関する不安と「予算」などお金に関することです。しかし、これらの失敗しがちな原因と仕組みを知っておけば、お客様に適切な情報を発信し、満足度の高い提案をすることができます。さらに将来の売却や賃貸を考えた家であれば、ただの負債ではなく、「住みながらの資産」にすることができます。例えば、適正予算の決め方、ローンの種類や内容、リノベーション費用を知るタイミング、物件の相場等をお客様に伝えることができると信頼していただけます。



プロフィール

美馬 功之介 みま こうのすけ

株式会社MIMA 代表取締役社長 / 不動産エージェン / 宅地建物取引士 / 建築士 / 木耐協組合員

Instagram @kounosuke0606 YouTube【住まいの大王】チャンネル @HouseKingMima

株式会社MIMA

ホームページ <https://mima-yao.com>

Tel. 0120-43-0683 9:00~18:00(無休)



木耐協技術部 | 駒井隆広

通勤時に新社会人の方々を見かける季節を迎え、初々しいスーツ姿を見て、自分にもこういう時があったなあ、とつい懐かしく感じました。社会人になってから十数年が経ちましたが、気持ちだけはいつまでも若々しくありたいと思いました。

→ 技術的な質問や相談をお送りください

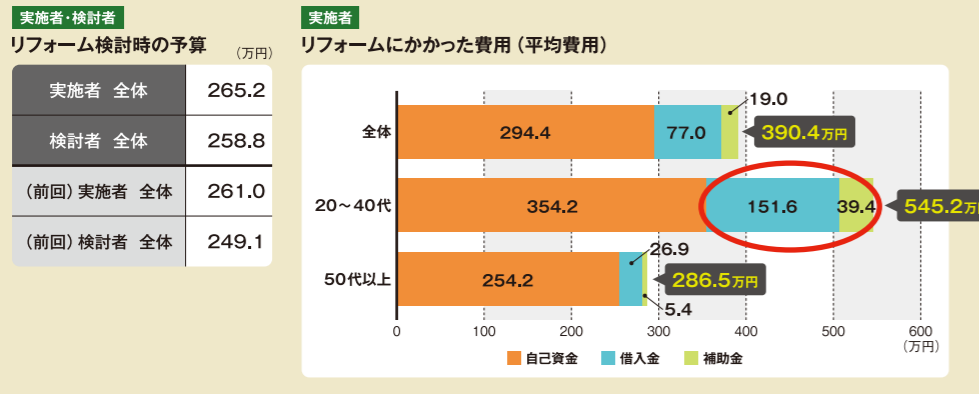
Mail mts@mokutaikyo.com

Tel 048-224-8316 (木耐協事務局)

トピックス
1

リフォーム検討者・実施者

リフォーム実施者の検討時予算は平均265万円だが、実際にかかった費用の平均は390万円。いずれも前回より上昇

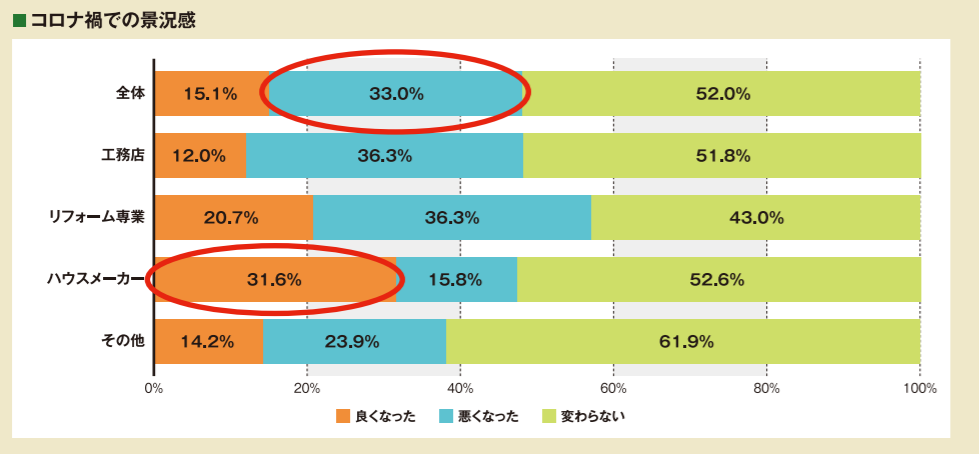


- ▶ 前回調査よりも予算も実施額も上昇
- ▶ 20～40代は借入と補助の割合が35%と最も大きく、大型リフォームに積極的

トピックス
2

事業者

コロナ禍による景況感は33%の事業者が「悪くなった」と回答。業種別にみるとハウスメーカーは「良くなった」が「悪くなった」を上回る



- ▶ 全体平均では「良くなった (15.1%)」は、「悪くなった (33.0%)」の約半分
- ▶ 工務店、リフォーム専業は「悪くなった」が多いが、ハウスメーカーは好調

減税や補助制度情報は重要 耐震への消費者意識の高まりも

リフォーム平均額は前回の減少傾向から反転して、上昇傾向となりました。「減税や補助制度を利用できることを知ったから」が5.6%↓9.5%と増加しており、「こどもみらい住宅支援事業」等の補助事業が要因の一つと考えられます。

なお、本調査では「耐震診断の実施率が1.9ポイント上昇し、15.3%に」や「税制優遇制度の中で最も認知されているのは耐震リフォーム減税」など、耐震への意識が高まりを感じるデータも掲載されています。他にも、リフォーム検討のきっかけ、年代別に異なる情報収集方法等、情報発信やリフォーム提案に有益な情報がつまっていますので、皆様の事業にお役立てください。

▶ 住宅リフォーム推進協議会 調査報告書等 https://www.j-reform.com/publish/publish_business.html#jiturei-c



見逃さない

お役立ちデータ

をご紹介します!

第17回

住宅リフォームの消費者・事業者に関する実態調査
リフォーム平均額は上昇傾向も
業種によって明暗分かれる

▼本コーナーでは、様々な団体が発表しているデータから選りすぐりの情報をお届けします。

▼今回は、住宅リフォーム推進協議会が発表した「2022年度 住宅リフォーム消費者・事業者に関する実態調査」をご紹介します。組合員の皆様にもご協力いただきありがとうございました。

調査対象

2022年7月～8月にかけて、消費者にはインターネットリサーチ(有効回答約1,200)で、事業者にはインターネットリサーチと郵送(有効回答1,272)で実施された調査結果をまとめたもの。

今月の教訓

▼事故対応に伴うお客様対応や精神的な負担は甚大
▼工事現場では、安全管理こそ最優先にすべし



※写真はイメージです

工事現場で一度事故が起きると関係者にとって災厄以外何物でもなく、誰も喜ばない結果となる。また、保証内容や範囲を巡ってお互いに折り合わなければ、労力も時間も途方もなくなかかると。今回ご紹介する事件も、解決するまで8年もの歳月を要した。

内装リフォームを請け負った戸建て住宅の工事が順調に進んでいたある日、昼休みに昼食も兼ねて事務所に戻った。そこへお客様から「家が燃えている」というにわかには信じられない電話が入る。慌てて駆けつけると住宅は炎に包まれ、辺りは蜂の巣をつついたような大騒ぎとなっていた。

消防署の実況見分によると、出火原因はコンセントにつないだままの電動工具から火花が発生し、近くのほこりに引火したことだった。現場を離れる時に電動工具の電源プラグをコンセントから外していなかったのだ。家は全焼したが、人的被害がなかったことが唯一の救いであった。

焼けた家屋の建て替え費用を巡り訴訟へと発展。主な争点は積もっていたほこりが、古い家屋での掃除も行き届いていなかったことの過失割合だった。最終的に工事業者側の敗訴で裁判が結審するまで、約8年が過ぎようとしていた。

安全第一、事故を起こさない現場管理の徹底は基本であるとともに、最優先されるべきなのだ。事故によってお客様を苦しませず、自社を苦しませないためにも。



※写真はイメージです

News

今月の事件簿★木村協24時
工具からの火花で全焼。解決まで8年もの歳月

News & Topics

国土交通省 最新の住宅関連の支援制度等を動画で配信

国土交通省は、2022年度補正予算、2023年度当初予算案・2023年度税制改正大綱に盛り込まれた「良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度」を解説したWEB動画・説明スライドを公開しています(計140分程度)。

住宅事業者向けの解説動画になっています。ぜひチェックしてみましょう。

「良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度」についてのWEB動画を配信します!

https://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_001149.html



動画のパート

- 1 住宅生産行政の取組と方向性
- 2 住宅取得に係る税制等の支援策
- 3 住宅・建築物の省エネ化の推進
- 4 良質な住宅ストックによる新たな循環システムの構築
- 5 木造住宅・建築物の振興
- 6 その他

令和4年度
良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度等の説明

4. 良質な住宅ストックによる新たな循環システムの構築 [前半]

0:06 / 49:53



第168回直木賞(2023年1月)受賞作



今号の理事長オススメはこの一冊！
『地図と拳(いぶし)』

『地図と拳(いぶし)』
著者/小川哲
発行/集英社
価格/2,200円(税別)

今回はいつもと違い、お薦め出来ない本の紹介ですが、直近の直木賞受賞作なので本屋の一番良い所に平積みになっています。タイトルの「地図と拳」は、「地図」は文字通り「版図(地域)」、「拳」は「支配力(暴力)」を指しているものと推察出来ます。

さて物語の時代は、明治末期から第二次世界大戦終戦後までの約50年間。中国北東部、旧満州地域の支配や利権をめぐる、国や組織やそこに居る人間達の血みどろの戦いの軌跡を綴ったものです。その内容はどこまでが事実でどこからが小説なのか区別がつきませんが、この小説の面白さがもし有るとすればその一点に尽きます。

しかし、その長大な読書時間は「修行」でしかありませんでした。毎月十冊以上は読みますが、これほど本の内容に入れなかった本は珍しい。まず、主人公は一体誰なのか？

この本の登場人物の多様さは内容を複雑にするばかりで、何の伏線にもならず登場する意味の回収も行われません。だから、その人物の描写が何故必要なのかも分からず物語に入り込めません。また、全てのページに年号がふってあり時系列は整っていますが、急に話が飛びすぎて前後の内容を理解するのに苦労します。結局、最後まで読んでも作者は何を言いたかったのか分からずじまいでした。なぜこも内容がぶつ切れるのかは、この小説が3年に亘る月刊誌の連載だからだと思えますし、登場人物の多さは参考文獻の多さに比例したのだと思えます。それにしてもなぜこの小説が直木賞なのか？理解に苦しみます。東大大学院出の36歳の著者だからなのか分かりませんが、直木賞選考委員の感性は普通じゃないのでしょうか。つい「裸の王様」の話を思い出していました。

今回はお薦め本ではありませんが、ご興味のある方は是非一読され、私に読後感(反論も)のお手紙をください！



事務局通信

●編集後記●
春になると「ゴールデンウィークのご予定は？」という会話をすることが多くなります。日本は祝日が多い一方、有休取得率は58.3%(令和3年)で、世界でみると低いようです。人手不足で休みづらい、周りに迷惑が掛かると感じるなど、取得しない理由は様々ですが、必要な時に休める環境は長く働くためにも大事ですね。(渥美)

第25期通常総会を開催いたしました

3月23日(木)に、ビジョンセンター東京駅前にて「木耐協 第25期通常総会」を開催いたしました。総会議事(2022年度決算・事業報告/2023年度予算・事業計画/役員選出 他)について、ご承認いただきました。



総会に出席された2023年度役員の皆様

役員	会社名	役職	氏名
理事長	エイム 株式会社	代表取締役	小野 秀男
	太豊建設 株式会社	代表取締役	岡井 徹博
理事	株式会社 アットホーム四国	代表取締役	北村 憲司
	株式会社 アーバンコキタ	代表取締役	小北 剛
	株式会社 スイコー	代表取締役	澤口 司
	株式会社 住環境工房らしんばん	代表取締役	白水 秀一
	株式会社 空設計	代表取締役	平山 郁夫
員外理事	清水英雄事務所 株式会社	代表取締役	清水 英雄
監事	株式会社 新日不動産	代表取締役	細野 幹雄
	高城税理士事務所	統轄本部長	大山 志乃武
顧問			中澤 守正

発行●国土交通大臣認可法人 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合
 発行人●小野秀男 編集●関 励介、伊藤健三、渥美寿子
 所在●東京都千代田区麹町2-12-1グランアクス麹町7F tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内

工事保険の見直しで経費削減しませんか

木耐協あんしん倶楽部のご案内

見直し事例紹介 ~年間保険料が半額以下の事例も~

事例1 請負高1億円の組合員様：半額以下に！

切替前 ¥321,120
切替後 ¥152,020
53%削減

事例2 請負高2.7億円の組合員様：28万円削減！

年間保険料 699,240円 → 416,840円
282,400円削減

①保険料(年会費)が安い！
木耐協が保険会社と大口契約を結び、保険料をグッと抑えています。切替で平均5割保険料が安くなっています。

②賠償責任、建設工事保険をセット
賠償責任保険(請負業者・生産物)と建設工事保険をセット。詳細はパンフレットをご覧ください！右側のQRコードからもご覧いただけます。

払い出しの実例 ~こうした事故に備えます~

賠償責任(工事中)

お支払い金額
774万円

屋根葺き替え中の養生が甘く、2階全体と1階半分が雨で水浸しになった

賠償責任(引渡し後)

お支払い金額
161万円

ビル2階に設置した浄水器から半年後に漏水し、階下に被害が発生。

建設工事保険

お支払い金額
714万円

新築住宅工事中の現場が放火に遭い、住宅が一部燃えてしまった。

年間工事請負高をいただければ、すぐに御見積します！
 また、現在の保険証券もお送りいただければ、内容の違いもご説明します。
 木耐協あんしん倶楽部担当 伊藤 TEL 03-6261-2040

貴社名	年間工事請負高 万円
ご担当者名	現在の工事保険 <input type="checkbox"/> 契約あり / <input type="checkbox"/> 契約なし

FAX送信先 03-6261-2041

信用度アップ↑ 受注力アップ↑ 住まいのハウズドクター 耐震技術認定者 資格活用術



▶全国で活躍している耐震技術認定者にフォーカスを当てる本コーナー。認定者資格を取得したメリットや耐震を通じたお客様とのエピソードをご紹介します。木耐協ホームページでは認定者の検索やインタビュー記事も公開しています。

第9回

神田 めぐみ様

株式会社
エコ・ビータ
(京都府舞鶴市)



認定者検索



インタビュー



Q 認定者資格を取得して
変わったことはありますか

A 耐震補強とは家を守ることだと思っていました。しかし、認定者資格の講習でお客様の命を守るための補強だという事を習い、衝撃を受けました。お客様の命を守るという意識で耐震診断、補強提案、補強工事に取り組むようになりました。

Q 認定者資格が活かされていると
感じる時はどんな時ですか

A 小さなリフォームから、間取り変更を伴うリノベーション工事まで耐震診断や省エネ診断、インスペクションをして、自宅の現状を知っていただいた上で最適なリフォーム、リノベーションを提案できるようになりました。

Q 診断時のやり取り等で
特に気を付けている点や苦労点

A 耐震診断の結果をお伝えすると、やはり落ち込まれたり、不安になられたりします。「決して手を抜いた家ではなく、当時はこの工法で建てられるのが一般的です。大地震が来る度に法律が改正されていますので、今の基準に当てはめると評点が下がるのは当然の事です」とお伝えし、「これくらいの補強をすれば、地震に強い家になりますよ」と不安を取り除けるようにお話をさせていただいています。

Q 耐震化への意気込みを聞かせてください

A 耐震診断は、小屋裏に上ったり狭い床下に入ったり、とても体力のいる仕事です。また、不安を持たれた方が依頼されるので、耐震診断をしてヘトヘトになってはお客様に不安をおおることにもなりかねません。そのため、日々の健康や体力作りには気を配り、耐震診断を行っています。また、補助金制度もあることをお客様に提案し、予算面でも安心していただけるようにしています。

▶ 屋内の傾きを確認中

